

浸水対策は喫緊の課題、まちの発展と「両立」が重要 ～まちづくりの視点から対策の検討を～

6月30日から7月1日にかけて山口市内を襲った豪雨は各地に大きな被害をもたらしました。治水にとって重要な田畑を宅地化することによって市街地が拡大してきた山口市。昨今の地球温暖化等による豪雨の激甚化は、これまでの浸水対策では追いついていない面があるように感じます。「これまで」と「これから」のまちづくりを考える中で検討することが必要だと思えます。

令和5年 第1回山口市議会定例会 質問と答弁

雨水管理総合計画策定について

▶質問

令和5年度予算に雨水管理総合計画策定業務費が計上されているが、この計画を策定するに至った背景、また、業務内容について伺う。



令和4年9月19日 大内中村橋付近の浸水被害

▶答弁

近年の都市化の進展等により農地が減少し、雨水の地下浸透が妨げられ、河川への流出量が増加していることに加え、気候変動による降雨量も増加している。このような状況の変化を踏まえて、今後、下水道で雨水整備を進めていくための雨水管理総合計画について、令和5年度は計画策定に向けた基礎調査を実施することとしている。基礎調査の内容は、下水道の全体計画区域内において、過去の浸水被害の状況や降雨記録、河川の水位や地形などの資料を収集して状況の把握を行い、その後の測量や浸水シミュレーションなどを行う検討対象区域を設定することとしている。



大内問田川と内水氾濫

大内地区中村橋付近の内水氾濫について

▶質問

大内地区の中村橋周辺が連続して冠水したが、その経緯と対応について伺う。

▶答弁

県道山口秋穂線を挟む形で東側の住宅団地と西側の市道が、問田川への排水不良が原因とみられる道路冠水が発生した。排水ポンプでの緊急対応が可能な業者へ依頼し、河川水位が自然流下可能なところへ下がるまでポンプによる排水を実施した。令和4年度においては、排水ポンプでの緊急対応が可能な業者の選定や、作業員・資機材等の手配、準備等に時間を要した。令和5年度以降は、大雨が予想される期間中に、緊急対応が常に図れるよう、事前に業者と契約するための予算を新規に確保した。



令和4年9月19日 排水ポンプでの緊急対応



令和5年7月9日 問田川への排水

▶議会での主張

今後の大雨への対策、対応方法等については、部局横断的に抜本的な対策の協議を要望する。特に、農業試験場跡地の有効活用に伴い、雨水貯留施設を設置する等の大規模な地下利用を検討されることを要望する。



問田雨水ポンプ場及び樋門の整備について

▶質問

大内問田地区における雨水ポンプ場の整備について、現在の進捗状況を伺う。あわせて、雨水幹線の排水先となる問田川との合流部に問田川から逆流する河川水を防ぐ樋門を設置するように県と調整しているとのことだが、今後の予定について伺う。

▶答弁

現在、地元にある既存施設、元々は姫山台団地からの雑排水を処理するための処理槽だったものを再利用し、その施設を貯留槽のような使い方をし、大雨時には一旦水を貯めてポンプにより排水する施設を整備する計画を進めている。令和5年度及び令和6年度で工事を実施し完成する予定で、ポンプ場建設用地の取得、工事実施に向けた詳細設計業務の発注、現在は詳細設計業務を行っている。この業務完了後、工事を発注することとしており、来年度末までの工事完成に向け予定通り進捗している。県が設置を予定している樋門整備については、現在、現地測量を終えて設計業務を進められている。今年度中には測量調査設計業務が完了する予定とされており、市の工事の進捗なども調整を行いながら、来年度以降の工事発注に向け順調に準備を進められている。



大内問田地区浸水対策事業

▶議会での主張

早急に整備し、浸水対策のモデル事業とし、他の地域での展開も要望する。

音楽教育の充実について

▶質問

音楽が子ども達の人生に彩りや生きる力を与え、子ども達の豊かな心を育み、人材育成にもつながる音楽教育を充実させるための取組について伺う。

▶答弁

芸術鑑賞会などの「本物」から学ぶ機会により、多くの子ども達の音楽表現への意欲が高まっている。感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出すとともに、音楽を聴いてその美しさや楽しさを見出すことができる授業づくりを推進し、子ども達が音楽を楽しみ、音楽に感動し、音楽によって響きあい、音楽によって絆を強めていくことができるよう、文化のまち山口の礎となる音楽教育の充実に努める。



音楽授業の様子

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

▶議会での主張

本市では児童・生徒が気軽に高いレベルの音楽に触れる機会が充実しており、高い水準の文化芸術を体感できる環境が整っている。音楽教育の優位性があり、さらなる充実を求める。

河川の浚渫について

▶質問

浸水対策として河川の堆積土砂を取り除く浚渫も重要な対策だと認識するが、県管理の二級河川について伺う。



浚渫工事の様子(仁保川水上橋付近)

▶答弁

槇野川、仁保川、問田川をはじめとして、小郡地域の四十八瀬川、徳地地域の島地川などの、計12河川について、一昨年度からの予算も含めた総額約3億円で浚渫を実施されるとの情報を県からいただいている。

▶議会での主張

これまで以上に、より組織横断的な連携をとって浚渫を進めてもらいたい。

新本庁舎建設工事における市の建築職員の関わりについて

▶質問

新本庁舎整備推進室では、本市のHPに「山口市新本庁舎建設工事特設サイト」を開設し、「現場ブログ」の中で工事のスケジュールや進捗状況の報告、最新の建築技術の紹介などの様々な情報を市民に向けて発信している。大手ゼネコンが請負う100億円を超える工事の建築技術を市の建築職員が共有すること、特に若い建築職員にとって大切な経験になると考えるが、市の建築職員は何らかの形で新本庁舎建設に関与しているのか。

▶答弁

今年度からの本格的な工事着手に併せ、現場事務所毎週実施されている工程会議に建築課の若手技術職員が可能な範囲で参加しており、通常業務では体験できない大手建設業者の工程管理、品質管理、及び安全管理の他、最新のデジタル技術を駆使した新しい現場監理の手法等を実際に体験することで、技術職員全体の工事監理に対するスキルアップに生かすことができよう努めている。

▶議会での主張

市民に、安全性が確保された状態で、進捗した工事の様子を公開することを要望する。

「山口市新本庁舎建設工事特設サイト」開設

<https://yamaguchi-shinhonchosa.jp/>

